

描いた 理想と 鈍色 の日々が
確かな 記憶を 今 今 呼んでる

遅刻間近 それってマジか 勝手にあだ名をつけないか
教室のさ 喧騒の中で 笑い合えた一瞬だけで

満たされない渴いたグラスの心も
全部 君が注いだ光が 僕を突き動かしている

爽快な旋律も 響く声も
ここにいるよ まだいたいよ 永遠(とわ)に
五線譜の風が駆け抜けるよ
グラデーションが流れてく 空に音を足して
あなたと進んでゆく まだ見ぬ夜明けへと

荒んだ瞳を 悴んだ両手を
見つけて そのまま 連れ出してよ

泡沫みたい 脆く弱い 僕らの心 だけど
あの日の かわした言葉 駆け抜けてく彼方の向こう

曖昧な気持ちも 焦燥も傷も
上がる体温 揺れる態度 僕と
交差する幾億の物語
終わらない旅路まだ 歩みを止めないで
切り開いてくほら 明日の閃光

爽快な旋律も 響く声も
ここにいるよ まだいたいよ 永遠(とわ)に
五線譜の風が駆け抜けるよ
グラデーションが流れてく 空に音を足して
あなたと進んでゆく まだ見ぬ夜明けへと

再び逢えた時は またこの歌を歌おう